

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おひさま		
○保護者評価実施期間	R7年1月25日		～ R7年1月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)
○従業者評価実施期間	R7年1月25日		～ R7年1月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	R7年1月25日		～ R7年1月29日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	1	(回答数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同施設内の認定こども園に訪問しているため、降園時に利用者の保護者に様子を丁寧に伝えることができる。	職員間での子ども(利用者)の情報の共有・共通理解が深められ保護者にも子どもの様子だけでなく、担任の声かけやクラス全体の流れなども報告している。	認定こども園の職員と連携し、困り感のある園児の情報共有、また保護者に保育所等訪問支援の利用についてお知らせしている。
2	訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消される。	子どもの困り感(姿)を見ながら助言したり、支援している場面を実際に見ることで支援のイメージをもってもらえるようにしている。	保護者・園・事業所の連携を密にすることで一貫した支援に繋がる。
3			

	事業所の弱み(※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員の専門性の向上、経験を積む。	より専門性が求められると考えるので、人材育成に力を入れていく。	スキルアップにつながる研修等に参加する事と、経験値を積むことでスキルを獲得し、訪問員の育成につなげる。
2			
3			